

安全上の注意

警告

- 取付工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。直流電源装置の故障、感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- LEDモジュールの分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。(指定切断箇所での切断は除く)
- LEDモジュールに内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- LEDモジュールの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 適合直流電源装置(別売)以外は使用しないでください。LEDモジュールの破損、発煙、点灯回路損傷の原因となります。(適合直流電源装置:ELD2-2416P、ELD2-2435FD、ELD2430HDB、ELD2475F、ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDD)
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- LEDモジュールの取り付けは、LEDモジュールの質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。

注意

- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところで使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、LEDモジュールに水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- LEDモジュールを被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。
- LEDモジュール取付時は、マグネット受け金具(別売)やアルミレール(別売)を用いて確実に取り付けしてください。LEDモジュール落下によるケガの原因となることがあります。
- 点灯しているLEDモジュールを長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- LEDモジュールの温度上昇は収納部の容積やLEDモジュールと周囲の造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
- LEDモジュールに塗料などを塗らないでください。故障、破損、感電、火災の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯後しばらくは、LEDモジュールが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 磁石を使用してLEDモジュールを天井や高所に取り付けしないでください。故障、落下によるケガの原因となることがあります。
- LEDモジュールの磁石には非常に強い吸引力が働きますので、体の一部を挟まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
- 可燃性造営材に取り付ける場合にはLEDモジュールとの間隔をとってください。火災の原因となることがあります。
- 誤って落下させたLEDモジュールは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 周囲温度は5℃~35℃の範囲で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキの原因となることがあります。
- 点灯および消灯直後にLEDモジュールからの熱による金属の膨張収縮で、きしみが発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく拭いてください。
- 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュールの光が入らないよう配慮してください。
- LEDモジュールを並列に取り付ける場合は、LEDモジュール1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、LEDモジュールの短寿命の原因となることがあります。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じる場合があります。
- LED素子にはバラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときはLEDモジュールから1m以上離して使用してください。
- 通電したままLEDモジュールを脱着しないでください。直流電源装置、LEDモジュール故障の原因となることがあります。
- 交換の際はLEDモジュールごと交換してください。LED素子単体では交換できませんのでご注意ください。
- LED素子は、経時的に光色、明るさのバラツキが発生する場合があります。ご了承ください。
- LEDモジュールの自重や磁石の磁力を防ぐよう、マグネット受け金具(別売)やアルミレール(別売)を配置してください。
- 什器等の絶縁性能試験を実施する際は、LEDモジュールを必ず取り外しておこなってください。LEDモジュールが故障します。
- 磁石に磁気カードやメモリー等の電子記憶媒体などを近づけないでください。磁気の影響により、記録内容が消去されるおそれがあります。
- 磁石をパソコンやディスプレイ、時計などの磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により、故障の原因となることがあります。
- 調光する際は、指定の調光用直流電源装置と調光器を必ず使用してください。
- 被照射物の染料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。
- 扉の開閉箇所など、LEDモジュールが繰り返し曲げられる場所へ取り付けしないでください。故障の原因となることがあります。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、ランプ、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- ※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による)
- ※ LED光源は寿命がきても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

ナロータイプ

形式*1	全長(mm)	LEDモジュール入力電力(W)	本体質量(kg)	ユニット数(個)
CHC-LED100□□N20-MG	100	2.1	0.02	1
CHC-LED500□□N20-MG	500	10.4	0.1	5
CHC-LED1000□□N20-MG	1000	20.4	0.2	10

ワイドタイプ

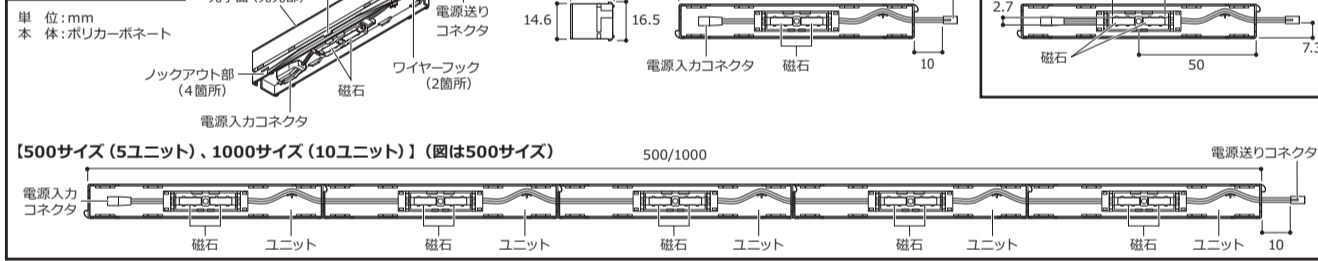
形式*1	全長(mm)	LEDモジュール入力電力(W)	本体質量(kg)	ユニット数(個)
CHC-LED100■F-MG	100	1.9	0.02	1
CHC-LED500■F-MG	500	9.4	0.09	5
CHC-LED1000■F-MG	1000	18.7	0.18	10

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

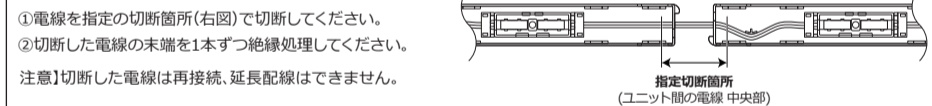
適合直流電源装置形式*4	最大使用W数*2
ELD2-2416P*3	14 Wまで
ELD2-2435FD*3(非調光・調光兼用)	28 Wまで
ELD2430HDB(非調光・調光兼用)	24 Wまで
ELD2475F*3*5	52 Wまで
ELD2-24240FD*3*5(非調光・調光兼用)	168 W(144 W)*4まで
ELD24320FD*3*5(非調光・調光兼用)	224 W(192 W)*4まで
ELD24150FDD(非調光・調光兼用)	105 W(90 W)*4まで

- ※1 形式の□□、■は色記号
□□(H27、H30は電球色、H35は温白色、H40は白色、H50は昼白色)
■(L28、L30は電球色、WWは温白色、Wは白色、Nは昼白色)
- ※2 最大使用W数は、LEDモジュール入力電力を使用し、組み合わせたとときの値です。ただし、直列配線LEDモジュール長合計は、ナロータイプ:2000 mm、ワイドタイプ:2500 mm以下としてください。
- ※3 段調光アダプタSDA150との併用で段調光可能。
- ※4 直流電源装置は周囲温度5℃~40℃の範囲で使用してください。ただし、直流電源装置ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDDを天井裏など40℃近傍で使用する場合は()内の電力で使用してください。
- ※5 集中電源システムでの使用可能。

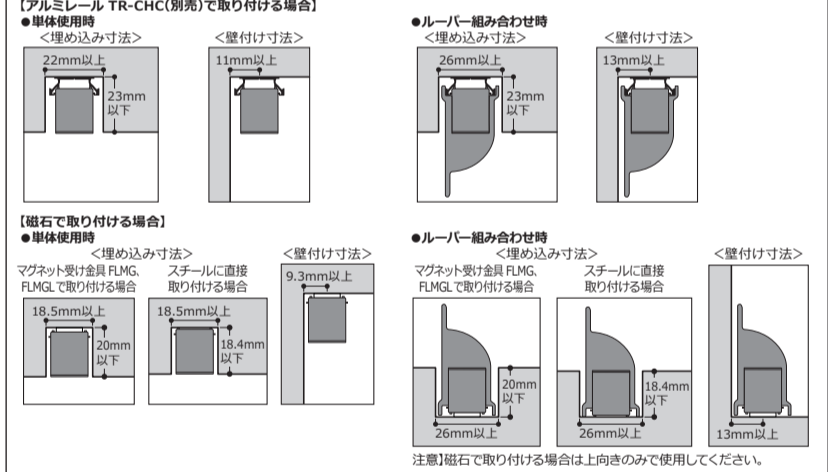
各部の名称と外形寸法



<LEDモジュールの長さの調整方法>



<最小施工寸法>



取付方法

1.本体の取り付け

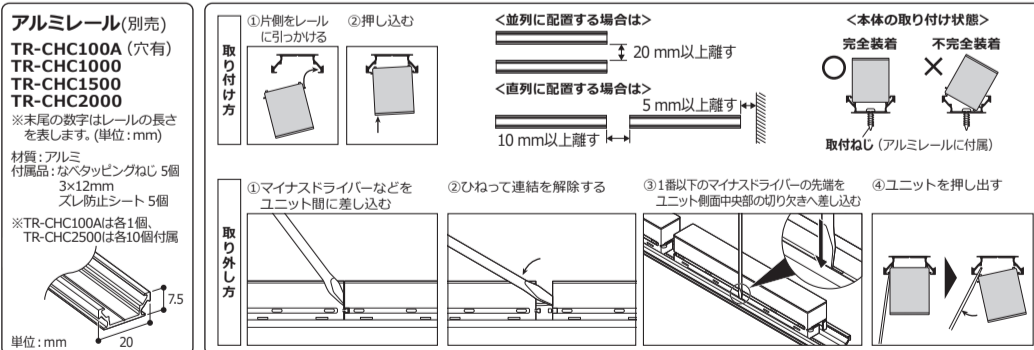
警告 不完全装着のまま使用すると落下します。
LEDモジュールはレールに確実に取り付けること。

注意
● 連結されているユニットの端部を下図のように持たないでください。(電線に負荷が掛かり、断線原因)

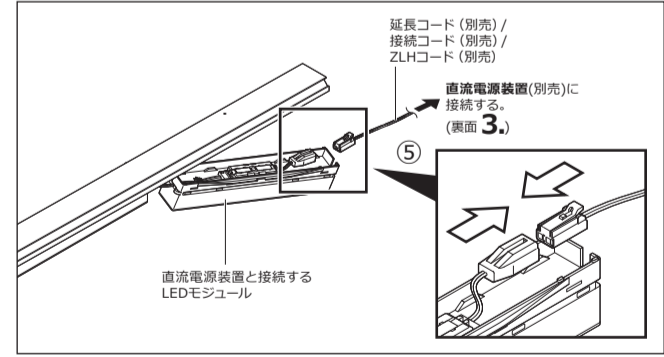
注意
● ジョインターでユニット同士が接続されている状態で、持ち運ばないでください。(ジョインター部、破損の原因)

アルミレール TR-CHC(別売)で取り付けの場合

- 直線で取り付ける
- ①アルミレールをLEDモジュール全長に合わせて切断してください。
 - ②アルミレールに取付穴(φ3.5mm程度)をあけ、取付ねじ(アルミレールに付属)で造営材に確実に固定してください。ねじ取付ピッチ:500mm以内
注意]取付穴加工は、溝以外にしないでください。
 - ③アルミレールにコネクタ接続をしないユニットを装着してください。
注意]縦向き、傾斜取付時はスリ防止シートを磁石に必ず貼り付けてください。(ユニット4連結に1個、ただしアルミレールTR-CHC100A使用時は各ユニットに1個)
 - ④LEDモジュールを接続する場合、LEDモジュール間のコネクタを接続し、ユニットをアルミレールに装着してください。



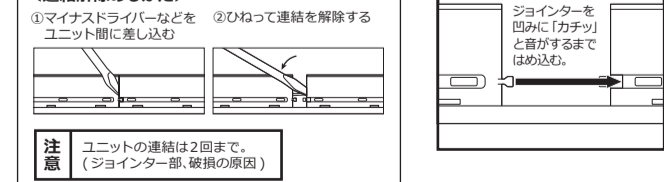
- ⑤LEDモジュールの電源入力コネクタを専用コードのコネクタに接続し、ユニット内に収めてください。



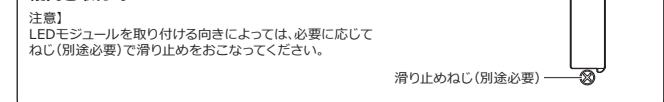
- ⑥ユニットをアルミレールに装着してください。



<連結解除のしかた>



縦向き取付時

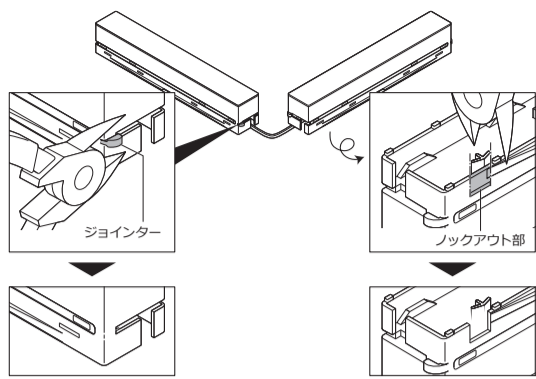


1.本体の取り付け (続き)

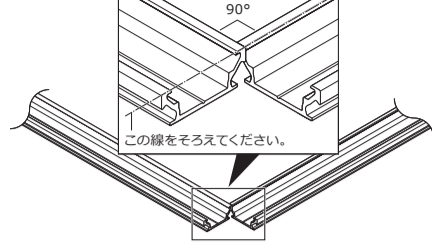
アルミレール TR-CHC(別売)で取り付ける場合(続き)

■90°で取り付ける (表面の「1.本体の取り付け」とあわせてご覧ください。)

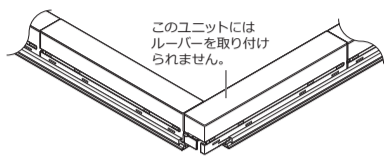
①ユニットのジョインターおよびノックアウト部(下図の ■ 部分)をそれぞれニッパーなどでカットしてください。



②アルミレールを以下のように配置してください。

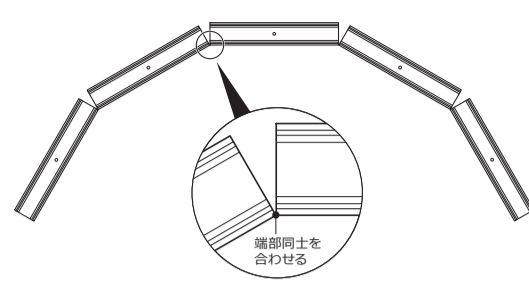


③下記のようにユニットを突き合わせてアルミレールに取り付けてください。

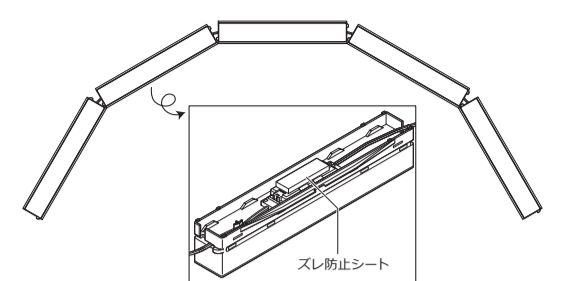


■曲線状に取り付ける (表面の「1.本体の取り付け」とあわせてご覧ください。)

①アルミレール TR-CHC100Aを曲線状に配置し、取付ねじ(アルミレールに付属)で造営材へ確実に取り付けてください。



②スレ防止シートをユニットの磁石間へ個別に貼り付け、その後にアルミレールに装着してください。

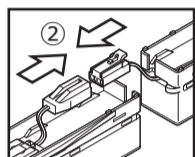


マグネット受け金具FLMG(別売)、FLMGL(別売)で取り付ける場合

■直線で取り付ける

①LEDモジュールの電源入力コネクタを専用コードのコネクタに接続し、ユニット内に収めてください。

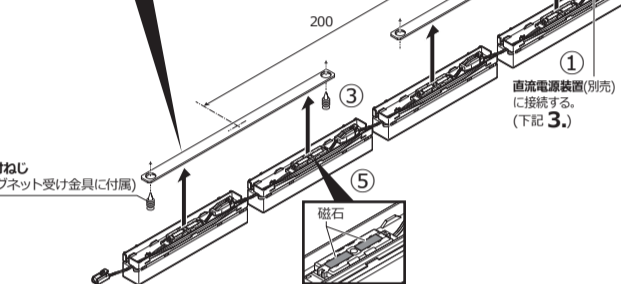
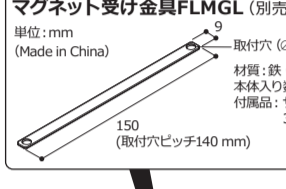
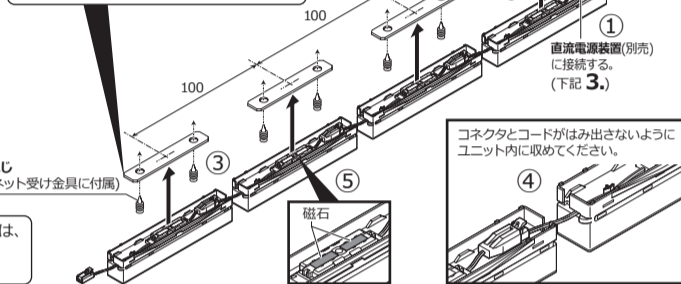
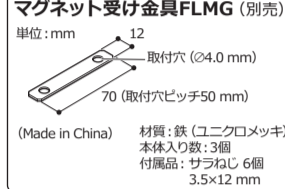
②LEDモジュールを接続する場合、LEDモジュール間のコネクタを接続してください。



③ユニットの磁石部の位置に合わせて、マグネット受け金具を取付ねじ(マグネット受け金具に付属)で造営材へ確実に取り付けてください。

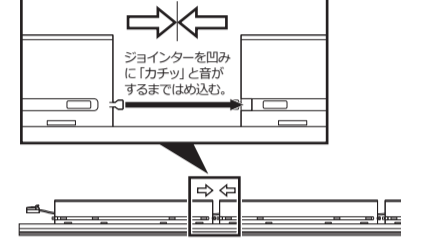
④コネクタとコードがはみ出さないようにユニット内に収めてください。

⑤ユニットの磁石部をマグネット受け金具へ貼り付けて取り付けてください。

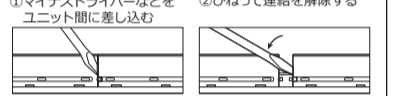


注意 磁石を使用して天井や高所に取り付けないでください。(落下の原因)

⑥ユニットを連結してください。



<連結解除のしかた> ①マイナスドライバーなどをユニット間に差し込む

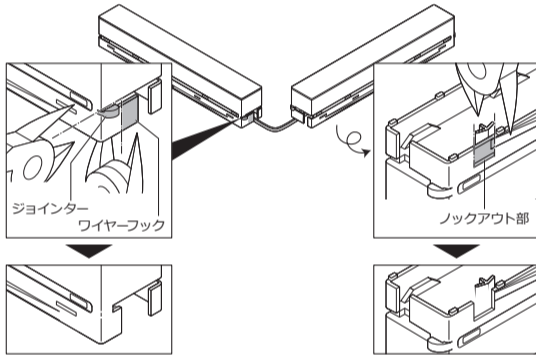


②ひねって連結を解除する

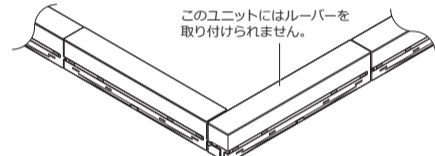
注意 ユニットの連結は2回まで。(ジョインター部、破損の原因)

■90°で取り付ける (上記の「■直線で取り付ける」とあわせてご覧ください。)

①ユニットのジョインター、ワイヤーフックおよびノックアウト部(下図の ■ 部分)をそれぞれニッパーなどでカットしてください。

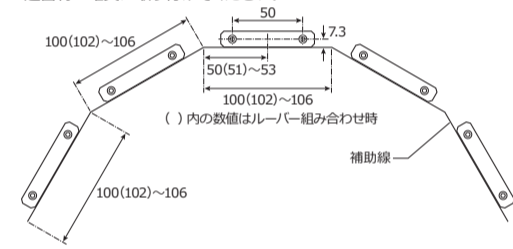


②下記のようにユニットを突き合わせてください。

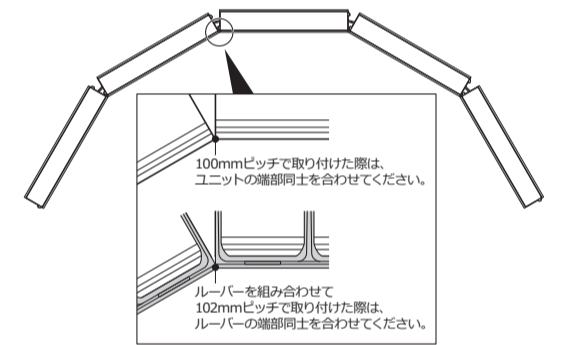


■曲線状に取り付ける (上記の「■直線で取り付ける」とあわせてご覧ください。)(マグネット受け金具 FLMGを使用する場合)

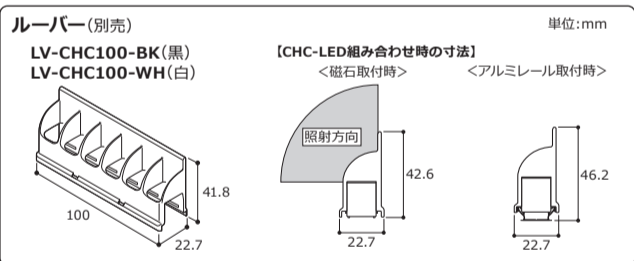
①下図のように補助線を引き、記載の寸法に基づきマグネット受け金具を造営材へ確実に取り付けてください。



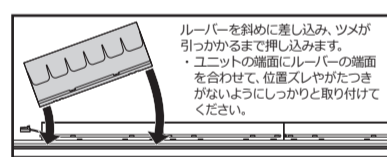
②各ユニットを取り付けてください。



2.ルーバーLV-CHC100(別売)の取り付け (必要に応じて取り付けてください。)

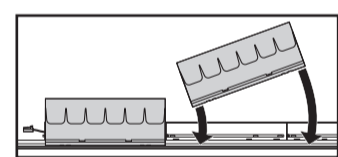


①ユニットにルーバーを取り付けてください。

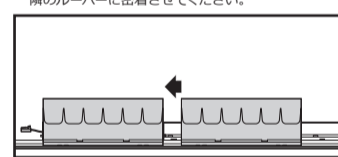


注意] ルーバー取り付けはLEDモジュール取り付け後におこなってください。注意] 磁石で取り付ける場合は上向きのみで使用してください。

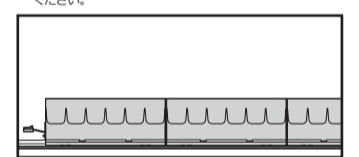
②隣のユニットにルーバーを取り付けてください。



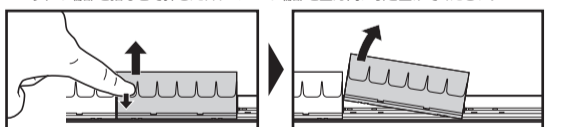
③「カチッ」と音がするまでスライドさせて、隣のルーバーに密着させてください。



④手順②~③を繰り返し、全てのルーバーを取り付けてください。



■取り外し方 ユニットの端部を指などで押さえ、ルーバーの端部を上方向に引き上げてください。



・手袋などをし、光学面に傷や汚れが付着しないように配慮をしてください。

3.直流電源装置(別売)の接続 ※必ず電源を切ってください。

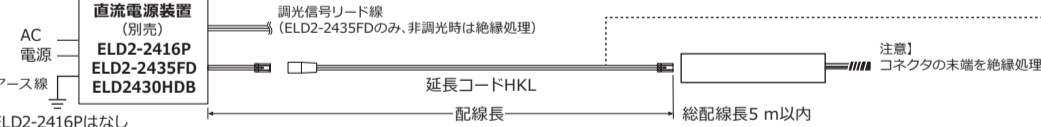
注意 直流電源装置の最大使用W数以下で使用。(故障の原因)

直流電源装置の取り扱いについては、各製品の取扱説明書をご覧ください。

●ELD2-2416P、ELD2-2435FD、ELD2430HDBを使用する場合

・専用コードHKL(別売)を必ず使用し下図の通り配線してください。
・調光用直流電源装置と調光器の接続については各調光器の取扱説明書をご覧ください。

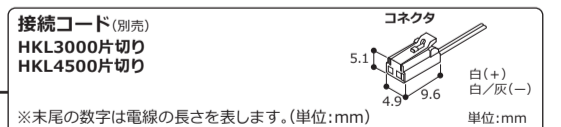
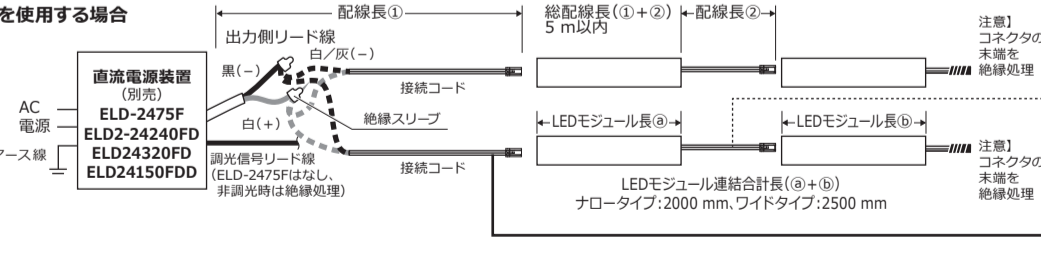
注意 ・総配線長は5m以内。(チャタキや暗点灯の原因)



●ELD2475F、ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDDを使用する場合

・専用コードHKL(別売)を必ず使用し下図の通り配線してください。
・LEDモジュール連結合計長がナロータイプ:2000mm、ワイドタイプ:2500mmを超える場合は、直流電源装置 出力側リード線の末端で分岐してLEDモジュールを接続してください。
・調光用直流電源装置と調光器の接続については各調光器の取扱説明書をご覧ください。

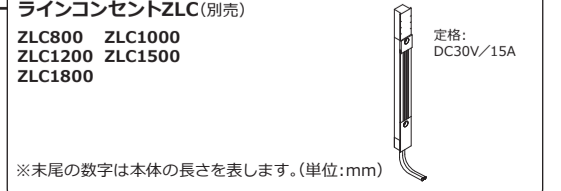
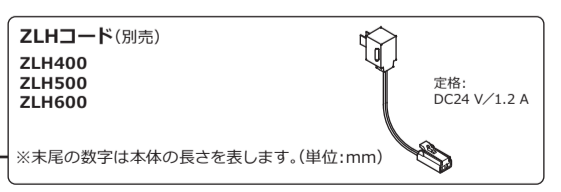
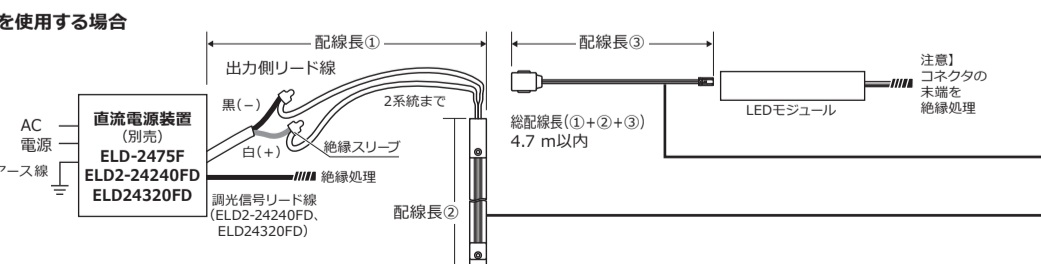
注意 ・総配線長は5m以内、LEDモジュール連結合計長はナロータイプ:2000mm/ワイドタイプ:2500mm以内(チャタキや暗点灯の原因)



●集中電源システムELD2475F、ELD2-24240FD、ELD24320FDを使用する場合

・ラインコンセントZLC(別売)とZLHコード(別売)を使用し、ラインコンセントZLCの電線を直流電源装置の出力側リード線へ圧着接続してください。
・ELD2-24240FD、ELD24320FDは調光信号リード線(白、黒/シース:灰)を絶縁処理してください。

注意 ・総配線長は4.7m以内、LEDモジュール連結合計長はナロータイプ:1000mm/ワイドタイプ:1500mm以内(チャタキや暗点灯の原因)



4.電源の供給

全ての作業が完了したら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。